

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの間に医学部附属病院で
良性肝腫瘍に対する外科手術をお受けになった皆様および
病理解剖を受けられた方のご遺族の皆様へのお願い

当院では「良性肝細胞性結節の免疫組織化学的、分子生物学的研究」を実施しております。この研究は、良性の肝腫瘍で発現している蛋白質と遺伝子を調べる研究です。研究の概要・目的・研究の方法は以下のとおりです。外科手術および病理解剖をされた場合、通常は病理学的な検索が行われ、検体は一定期間保存しております。我々はこれらの保存されている良性肝腫瘍の検体を用いて研究を行います。病理診断を終え保管されている検体のごく一部を使用する研究ですので、患者さんお一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって当院に通院中の患者さんからのご同意を頂いたものとして実施されます。また、この研究を施行するにあたり皆様にして頂くことは全くございません。研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加をご希望されない場合、研究に関するご質問は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

【研究の概要について】

研究題名：良性肝細胞性結節の免疫組織化学的、分子生物学的研究

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日

実施責任者：分子病態検査学分野 副島 友莉恵

承認番号：第 G-2015-501 番

【研究の意義・目的について】

良性肝腫瘍は、現在、発現する蛋白質と遺伝子の違いによって 4 つに分類されています。そのうちの 1 つは癌になりやすいことが知られています。しかし、これらの原因、病態、特徴は不明な点が多く残されているため、本研究で多くの良性肝腫瘍の特徴を調べることにより、診断や治療に貢献することを目的とします。

【研究の方法について】

当院にて、昭和 55 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の期間に外科手術または病理解剖により病理学的に検索されたあとの、保存されている良性肝腫瘍の患者さんの検体を用いて研究を行います。具体的には、免疫染色という手法を用いて蛋白質の発現を

調べ、また、特徴とされている遺伝子を調べます。

【研究協力の任意性と撤回について】

本研究への参加は患者さんおよびご遺族の意思でいつでも中断することが出来ます。そのことによって不利益をこうむることはありません。下記の連絡先にご連絡下さい。

【個人情報の保護と研究成果の公表について】

患者さんから得られた試料や診療情報は全て個人を特定する氏名、生年月日などの情報とは別の、本研究固有の通し番号を使うことにより匿名化します。また学会発表、学術論文として発表する場合にも個人が特定される情報は一切使用されることはありません。試料や情報は本研究のみに使用し他の研究への利用は行いませんが、万が一利用する場合は倫理審査委員会に申請し、対象者に告知をおこないます。

【研究の資金について】

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

【問合せ先等の連絡先】

東京医科歯科大学 医学部保健衛生学研究科 分子病態検査学分野

副島 友莉恵（そえじま ゆりえ）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話 03-5803-5375（直通）（平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）